



## 個人質問

## 一般質問項目表

大矢 一夫 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合小学校について</li> <li>・ 校務システムのクラウド化について</li> </ul>
詫間 茂 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ピロリ菌の検査と除菌治療の保険適用について</li> <li>・ 元気印かんおんじ21第2次ヘルスプランについて</li> <li>・ 観音寺市総合振興計画・後期基本計画について</li> <li>・ 地元業者の受注促進について</li> </ul>
立石 隆男 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光の振興について</li> <li>・ 情報・通信基盤の整備について</li> </ul>
黒川健太郎 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成24年度の決算状況について</li> <li>・ 河川へのゴミ不法投棄防止対策について</li> </ul>
大平 直昭 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊浜小学校の建て替えについて</li> <li>・ 学校における防災教育について</li> </ul>
大久保隆敏 (市民クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 萩原小学校の統合について</li> </ul>
井上 浩司 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 讃岐ジオパークへの取り組みについて</li> <li>・ 生活保護の自立支援について</li> </ul>
安藤 忠明 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南海トラフ巨大地震について</li> <li>● 交通マナーについて</li> <li>・ 障がい者施策について</li> </ul>
篠原 重寿 (社会民主党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流定住促進施策について</li> <li>● 第2次ヘルスプランについて</li> </ul>
安藤 康次 (無所属)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市の防災対策の取り組みについて</li> </ul>
安藤 清高 (日本共産党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時職員の現状について</li> <li>・ 有形文化財の状況について</li> <li>・ 待機児童について</li> <li>・ 予防接種の現状について</li> <li>● 新市民会館の管理運営について</li> <li>・ 市長への提案（市長への手紙）について</li> </ul>
伊丹 準二 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援対策について</li> <li>● コミュニティーの醸成について</li> <li>・ 経済対策としての公共工事のあり方について</li> </ul>
友枝 俊陽 (市民フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども課の創設について</li> <li>・ 本市の教育について</li> <li>・ 公園整備と安全対策について</li> </ul>
原 俊博 (市民フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アートトイレについて</li> </ul>
高橋 照雄 (無所属)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災について</li> <li>・ 財政について</li> </ul>
石山 秀和 (公明党)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育について</li> <li>● 障がい者の自立・就労支援について</li> </ul>
大賀 正三 (民政クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市の活性化について</li> </ul>
五味 伸亮 (市民フォーラム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページのスマートフォン対応について</li> <li>● 土曜日授業の復活の提案について</li> <li>・ 若者の投票率、政治参加の向上について</li> <li>・ 新市民会館と周辺整備について</li> </ul>

●印については、質問と答弁の内容を次ページ以降に掲載しています。

## 6月定例会の主な内容

## 一般会計補正予算など原案可決

## 11日招集・会期17日間

平成25年第2回定例会が6月11日招集され、27日までの17日間の会期で開かれました。

歳入・歳出予算の総額に9,087万4千円を追加し、総額を268億3,087万4千円とする一般会計補正予算や職員の給与の臨時特例に関する条例の制定などの15議案が提出され、議案の提案理由の説明がありました。

17・18日の2日間一般質問が行われ、市当局の考えをたどりました。

議案はそれぞれの常任委員会に付託され、19日から21日にかけて慎重に審査を行いました。

27日本会議では、各常任委員会の委員長から付託された議案の審査結果の報告があり、採決の結果すべての市長提出議案を原案のとおり承認・可決、請願の取り下げ1件を承認、陳情1件を不採択と決定しました。

なお、議案および請願・陳情の審議結果は、13ページ「審議した議案等とその結果」のとおりです。

# 質問

と

# 答弁

## 個人質問

大矢 一夫

### 統合小学校について

**質問** 引越し、生徒交流、避難訓練について伺う。

**答弁** 引越し時期は、来年1月頃竣工検査を経て引き渡しを受けた後を予定している。新規購入備品は2月より順次搬入、既存備品などは小学校で協議調整を行っている。なお、引越し委託業者を早急に決め、スケジュール調整に入る。生徒交流は1・2年生は生活科で、3年生以上は総合的な学習で、3年「町歩き探検」4年「有明浜の海浜植物の観察」などを年間数回実施。「修学旅行」や「宿泊学習」を合同で実施している。学校では毎月1回の管

理職による定期的な打ち合わせや、各主任などの計画的な打ち合わせを実施している。避難訓練は、避難訓練マニュアルを市教育委員会と学校が共同で作成。避難経路などは、開校準備段階で早急に決定したい。状況により小学校・幼稚園・保育所との連携のもと避難訓練を行う予定。

詫間 茂

### ピロリ菌の検査と除菌治療の保険適用について

**質問** 胃がん・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因の90%以上をピロリ菌が占めており、国民の半数の約6,000万人がピロリ菌に感染しているといわれている。ピロリ菌検査は、呼吸器検査という簡単な方法でできるのに、症状の出ている人たちにも保険適用をして多くの人たちにピロリ菌検査を受けて欲しいと思っている。保険適用への進捗状況を伺う。

**答弁** 胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの治療を目的として医師の指示により、ピロリ菌検査や除菌治療を行った

場合は保険適用であったが、平成25年2月21日付け「ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて」の一部改正により、内視鏡検査において胃炎と確定診断がなされた場合も保険適用となり、多くの方が保険適用で検査や受診ができるようになった。

立石 隆男

### 観光の振興について

**質問** 瀬戸内国際芸術祭は、本年は伊吹島でも開催されるが、今後も3年ごとに開催される。また、山間部が舞台の現代アート展「かがわ・山なみ芸術祭」も開催されている。

本市は、瀬戸内に浮かぶ伊吹島から豊稔池や雲辺寺ロープウェイがあり、海から山まで観光資源であるが、それらを結ぶインフラ整備は充分ではないと思う。

特に、市道大谷奥野線は狭く、大型バスはすれ違いが難しい状況である。これからの観光の振興を考えると、インフラ整備が必要だと思う。当局の考えを伺う。

**答弁** 市道大谷奥野線は、当初農道として整備されており、曲線部が多く、見通しの悪い箇所も数多く存在している。本路線は、巡礼の大型バスなど車両の通行量も増加している。特に支障となる区間などを調査し、施工可能な箇所より整備していく。

黒川 健太郎

### 平成24年度の決算状況について

**質問** 一般会計の決算概要及び市税・地方交付税・繰入金などの状況。また、市債や主な基金の推移と、固定資産税・市県民税・軽自動車税の収納率について伺う。また、特別会計の決算概要についても伺う。

**答弁** 一般会計の決算は、歳入総額が249億3,574万1,000円、歳出総額は242億2,315万9,000円で形式収支は7億1,258万2,000円の黒字であり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は5億8,513万5,000円の黒字である。主な歳入の状況

で市税は84億7,848万円、地方交付税は61億9,117万9,000円、国庫支出金は24億471万3,000円、繰入金は6億8,893万6,000円。また、市債の平成24年度末現在高は321億1,750万円である。市税の収納率は、市県民税では95・13%、固定資産税は90・93%、軽自動車税は90・11%である。また、特別会計は一般会計と同様、すべてが黒字決算となっている。

大平 直昭

### 豊浜小学校の建て替えについて

**質問** 今年度の施政方針で、豊浜小学校は大規模改修に着手するとあり、今年度は26年度27年度の大規模改修に向け、改修方法の調査や実施設計を行う予定であるが、築後約40年の老朽化施設であり、また学校としては特異な建物なので、今より安全で快適な教育環境にするにはかなりの経費を要するものと考えられる。ここで何億円もかけて改修するよ

りは、建て替えを検討するべきだと考えるがいかかか。  
**答弁** 本年度より老朽した設備面や内装及び外壁改修などの大規模改修を予定していたが、これを見直し、他の市内の小中学校の全体の施設整備計画の中で建て替えも含めて検討していきたい。

### 大久保隆敏

#### 萩原小学校の統合について

**質問** 平成22年2月23日に提示された市立学校等再編基本方針によると、大野原小学校・萩原小学校・紀伊小学校の統合はおおむね5年以内を指すとあるが、統合に向けて昨年よりPTA・自治会関係者などに対して何回か会合を持ったようだが、今日までの経緯と現状を伺う。また、跡地についてはどう活用していくのか。

**答弁** これまで、それぞれの地区の在校生の保護者のみならず保育所・幼稚園の児童の保護者などに対する説明会を3回、地元自治会の皆さまに対する説明会を1回行ってきた。これまで

の説明会の中で統合の必要性の説明や通学支援、その他の要望などを伺い、地元の賛同がいただけるよう説明を続けている。また、統合の時期を平成27年4月をめどとした旨の提示を行った。跡地については、地域の皆さんの意見も伺いながら、市全体の問題として検討したい。

### 井上 浩司

#### 讃岐ジオパークへの取り組みについて

**質問** ジオパークとは、大地と人間との関わりをテーマとした、地域まるごとの公園化という発想である。塩や綿といった讃岐三白や讃岐うどんも、讃岐の大地の成り立ちと関係し、讃岐のジオパークを代表する食文化である。

ジオパークとして認められるには、素材の良さだけでなく、具体的な保全管理と活用方法を定める必要がある。

香川県においても、観光活性化につなげようと、経済同友会も県に協力の要請を実施しているところであ

り、本市も、その主旨を理解し、積極的に取り組んでいくべきと考えるが、いかがお考えか。

**答弁** ジオパークのユネスコ認定には、香川県をはじめ市町、民間団体が一体となったの取り組みが必要である。今後、県や他市、推薦団体などの動向を踏まえながら検討していきたいと考えている。

### 安藤 忠明

#### 交通マナーについて

**質問** 悲惨な事故が発生している。交通マナーを守ることが重要なことである。

しかし、携帯電話で通話しながら片手での運転が目につく。最近では、女性の方が増えてきたように思う。子どもたちへの影響も考え、大人のマナーがより重要であると思われるが、市の対応について伺う。

**答弁** 本市においては、交通指導員による市内各所の立哨や、警察署の協力のもと街頭キャンペーン、保・幼・小・中の交通安全教室の実施、老人クラブや公民館主催の高齢者交通安全

教室を開催するなど啓発活動を行ってきた。

一方で、子どもは親の姿を見て成長していく。児童・生徒に対する交通安全教育は、幼稚園教育や学校教育の中で計画的に指導を行っている。今後は、PTA総会などの行事を通して保護者の交通マナー遵守の重要性について、周知していく。



### 篠原 重寿

#### 第2次ヘルスプランについて

**質問** ①学校給食の「食育」について。24年度までは、市調理員が各地区で、親子料理教室などを通じて「食」の大切さを伝えてきた。4月からの民間委託後、食育・アレルギー食対応など、安心・安全な給食が引き続き守られているのか。

②計画推進のためには、関係部局の連携が不可欠。市全体の取り組み体制が必要と考えるが。

### 安藤 康次

#### 市の防災対策の取り組みについて

**答弁** ①委託後も引き続き、食への関心が持てるよう親子給食会、給食試食会などを実施し、地場産品利用拡大大も図っている。安全面では、毎日の献立について、学校と連携し、アレルギー疾患状況を把握し、安全確保に努めている。

②市全体の計画と位置付け、総合的、計画的に推進する。また、食生活改善推進協議会、生活改善グループ、JAなどの関係団体との連携と共に、学校・地域関係機関と連携を強化していく。

**質問** 一の谷川河川堤防の耐震診断、その結果としての耐震補強の提案に加えて、来年4月1日統合教育施設の供用開始に合わせて通学路の「安全・安心」が問題になる。みなとばし児童公園横の市道（河川堤防）は道幅も狭い、前出の提案を含めた港橋から地藏児童公園までの市道拡幅整備事業を提案する。

**【答弁】** 河川堤防の耐震補強は管理者である県の検証結果を待って整備が必要などころがあれば要望していきたい。また、港橋から地蔵児童公園区間の道幅は最も狭いところで4・0m。瀬戸町方面からの通学路としては、極楽橋を今後も利用できるよう、今年度から橋梁の「長寿命化修繕計画」に基づき整備を進める。市道については開校に伴い交通量が増える予想される。通学の生徒や通園の送迎車両の状況などを十分調査した上で、必要であれば拡幅整備などを検討したい。

**安藤 清高**

**新市民会館の管理運営について**

**【質問】** 市民の芸術文化活動の中核施設として、新市民会館の管理運営が重要である。一般公募の3名を含む11名の委員で管理運営検討委員会が開催されている。新市民会館を従来どおりの教育委員会の一部門として市が管理運営するのか、それとも市から独立した組織で行うのか、その場合で

も、純然たる民間組織とするのか、あるいは、文化事業財団のような組織を作るのかいろいろ考えられる。会館運営を営利事業と割り切って「もうかる事業しかやらない」という企業的な観点だけで文化をみるのではなく、支援育成するという立場から有効な方法を検討すべきと提案し、当局の考えを伺う。

**【答弁】** 市民会館管理運営検討委員会の答申を踏まえつつ市民の皆さまに喜ばれる文化の殿堂となるために、議会にも十分説明しながら、市の方針を決定していく。



**伊丹 準二**

**コミュニティの醸成について**

**【質問】** 各自治会館の衛生設備改修、リフォームによるバリアフリー化などに対し、市自治公民館建設費補助金交付要綱を一部改正し、より使いやすい補助のあり方

になるようだが、その単位が自治会ごととなっており、小は20戸に満たぬものから、大は900戸を越えるものまで、一様に自治会としてその補助対象とすることは不公平であり、早期の是正をすべきと思うが。

**【答弁】** 自治会に対する補助金などを世帯数に関係なく同額とすることの公平性については、補助対象となるものごとに判断すべきと考える。現在、世帯数の多寡により補助される自治会協議会補助金は単位自治会の活動経費であり、公平性が保たれている。自治会館などの建設改修については事業費に対しての補助額を決定しており、今後とも、できる限り均衡のとれた助成を行っていきたい。

**友枝 俊陽**

**子ども課の創設について**

**【質問】** 国においても子ども子育てに関する会議での議論が進んでおり、子ども子育てに関することは基礎自治体の考え方がもつと重要であるといわれている。

**【答弁】** 本市においても「子ども子育て支援事業計画」の策定に取り組もうとしているところであり、就学前の子どもに関する市民ニーズを見極めながら適正な組織体制について検討を進めていきたいと考えている。

**原 俊博**

**アートトイレについて**

**【質問】** ①約1、300万円をかけて建設されているアートトイレの意図・主旨・目的を伺う。②雨風の日の利用について、どう考えているのか。③芸術祭終了後、無用の長物とならないようにどのように運用していくか。「維持管理を含め」伺う。

**【答弁】** ①旧伊吹小学校の運動場に、トイレをアート作品とし、開催記念の一つとして設置することになった。開催期間中は、アート作品「トイレの家」として、開催後は、四季折々に島に訪れる方や、地元の人々の憩いの場のトイレとして配置する。②アーティストの設計意図で屋根に開口部分があるが、将来、利用に支障をきたすようであれば、開口部をふさげるような形になっている。③終了後は、伊吹島の憩いの場のトイレとして使用する。維持管理は、伊吹島の新たな観光スポット「トイレの家」として管理する必要があると考えている。



## 高橋 照雄

## 防災について

**質問** 平成25年3月31日南海トラフによる香川県、地震、津波、被害想定が公表された。現在、教育施設建設中のクラブウ跡地は、液状化危険度「A」液状化危険度かなり高い」となっている。液状化対策の現状とその進捗状況及びこれによる費用の概算を伺う。

**答弁** 主な液状化対策は、統合小学校校舎部分には長さ19mのコンクリート杭を106本、屋内運動場部分には長さ20mのコンクリート杭40本、保育所、幼稚園の園舎などでは長さ12mのコンクリート杭197本を打設し、敷地内の避難路部分についても長さ6・6mの砂杭627本を打ち込むことにより液状化に対する安全性の確保を図っている。グラウンド、園庭、駐車場などの液状化対策は敷地内の避難路部分以外は行っていない。これらの対策に要する費用は概算で2億3、350万円である。

## 石山 秀和

## 障がい者の自立・就労支援について

**質問** ①本年4月より、「障害者自立支援法」が改正され、障害者福祉制度の問題と利用者負担の問題がどのように見直されたのか伺う。②「障害者雇用促進法」も4月から改正され、全ての事業主は、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があると定められている。その概要と本市の雇用状況について伺う。

**答弁** ①「障害者総合支援法」は、課税世帯では、原則1割負担だが、上限が37、200円に設定。今回の改正では、難病などを障害福祉サービスなどの対象とすること。市が実施する地域生活支援事業の必須事業に追加。また、障害者のニーズ把握を行うことを努力義務としている点が主な改正。②障害者雇用は、平成24年6月1日現在、行政職員2・05%、教育委員会2・02%、法定雇用率が適用される企業77社の実雇用率の平均は1・79%となっている。

## 大賀 正三

## 市の活性化について

**質問** まれにみる高額当選口ト7で、本市がテレビ、新聞、週刊誌やインターネットなどで全国的に紹介され有名になったことは、紛れもない事実である。千載一遇のチャンスと捉え、市の活性化につながるべきだと考える。銭形の町金運パワースポットの町として全国に発信し、本市の特産物を縁起物として売り出し、官民一体となって活性化に取り組みるのは、今この時がチャンスだと思いが、市としてどのように考えているのか伺う。

**答弁** 今回の宝くじ高額当選の情報を受け、商工会議所、観光協会、商店街連合会などとの連携を図り、今後の観光ガイドマップへの高額当選情報の掲載を検討しているところである。今後は、銭形の砂絵を見たら、お金に一生不自由しないなどの言い伝えをキャッシュコピーの一つとして積極的に活用するとともに、金運パワースポットの町、銭形の町として再アピールして行きたいと考えている。

## 五味 伸亮

## 土曜日授業の復活の提案について

**質問** 土曜授業を取り入れてほしいという意見の理由として、学力の低下や学習指導要領に加え、道徳教育を詰め込む負担。数日間休んだ場合の学習の遅れ。また、土曜日の過ごし方、友達や先生との時間不足、ゆとり教育の間違いを正すなどさまざま。県下では、東かがわ市、まんのう町、高松市が取り組みを始めた。特に学力の低下は、大きな財産を失うことに等しい。実施すれば、学力が保証されるものではないが、土曜授業を契機に、市の教育がさらに充実していくと期待をしている。実施を強く提案するが、教育委員会の姿勢を伺う。

**答弁** 各学校では、授業そのものの質を上げることや放課後の補充学習を実施するなど、着実な成果を実感している。現時点では、土曜授業の導入は考えていない。しかし、国でも議論されており、国としてそうならば、考えていかなければならない。

## 議会報告会のお礼

5月26日(日)～28日(火)の3日間、3月議会の審議結果と今年度予算事業を中心とした議会報告会を3会場で開催しました。

市民の皆さまには何かとお忙しい中、多数ご来場いただきありがとうございました。市役所、市民会館、統合小学校建設や、瀬戸内国際芸術祭など活発に意見交換が行われました。

また、アンケート調査では、報告会に対する意見や要望、さらには議会活動に対する批判や激励をいただきました。

市議会では、これらの意見や要望などを真摯に受け止め、今後の議会活動に活かしてまいりたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 審議した議案等とその結果

## ●第2回（6月）定例会

議案名	審議結果
<b>※市長提出議案</b>	
専決処分の承認について（観音寺市税条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分の承認について（観音寺市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
観音寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
観音寺市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	原案可決（反対3人）
観音寺市長等の退職手当に関する条例の一部改正について	原案可決（反対1人）
観音寺市保育所条例の一部改正について	原案可決（反対4人）
観音寺市総合コミュニティセンター条例の制定について	原案可決
観音寺市農業委員会の農地部会その他の部会を構成する委員の定数に関する条例の一部改正について	原案可決
観音寺市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決
観音寺市防災会議条例の一部改正について	原案可決
観音寺市災害対策本部条例の一部改正について	原案可決
観音寺市立学校条例の一部改正について	原案可決（反対4人）
平成25年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）	原案可決（反対2人）
<b>※請願</b>	
中国銀行旧観音寺支店の有効活用を求める請願の取り下げについて	承認
<b>※陳情</b>	
年金2.5%の削減中止を求める意見書の提出についての陳情	不採択（賛成1人）

●議員個々の賛否についてはホームページに掲載しています。

## 建設経済委員会の行政視察の報告

議会の活性化および議員活動に活かすために、下記の内容で視察研修を実施しました。

**日時** 平成25年5月13日（月）～15日（水）

**場所・事項** ●佐賀県鳥栖市【新鳥栖駅周辺整備事業について】

①立地条件と事業内容

九州地方における交通の要衝に、新しく九州新幹線の新鳥栖駅が誕生した。駅周辺の土地区画整理事業を通して、広域交流や企業活動の活性化を図る。

●佐賀県武雄市【元気再生事業について】（写真①）

①有害鳥獣として駆除したイノシシの特産品化事業  
有害鳥獣駆除したイノシシを、食資源として活用し、特産品化を目指すため、食肉処理施設を建設した。イノシシ肉の商品・加工品の開発を進めている。

②レモングラスについて

農業の担い手不足や遊休農地の解消を図るため、レモングラスの栽培を推進する。産学官連携により、栽培指導・商品開発・販路開拓を図っている。

●長崎県長崎市【まち歩き観光について】

①長崎さるくについて

観光動向は、団体型から個人型へ、物見遊山から体験志向に変化してきた。街全体を観光資源として、まち歩き体験を実施。市民との協働により、実施している。

●佐賀県鹿島市

【耕作放棄地対策事業・重要伝統的建造物群保存地区対策事業について】（写真②）

①耕作放棄地対策について

山間部の耕作放棄地対策の一つとして、牛の放牧を実施している。

②重要伝統的建造物群保存地区対策事業

江戸期の景観を現在に遺す肥前浜宿の事業仕掛けと展開。



①武雄市 食肉加工センター



②鹿島市

**参加者** 委員長 立石隆男、副委員長 伊丹準二  
委員 岡田正徳、森谷政義、楠井泰功、安藤忠明、五味伸亮